

企業家研究フォーラム

2016年度年次大会 プログラム

主 催：企業家研究フォーラム、大阪大学大学院経済学研究科

7月 16日 (土)

13:00 ~	受 付 開 始(3階)
13:30 ~ 16:20	自由論題報告
16:30 ~ 17:30	総 会
17:40 ~ 19:00	懇 親 会

7月 17日 (日)

9:10 ~	受 付 開 始(3階)
9:40 ~ 12:05	自由論題報告
13:15 ~ 16:45	共通論題報告

会場：大阪大学中之島センター

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 TEL:06-6444-2100 / FAX:06-6444-2338

会場詳細・アクセス → <http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

会員の皆様へのお願い

- 年次大会・懇親会への参加費につきましては、事前のお振込み（振込期限：7月4日）をお願いしております。特に懇親会につきましては、当日参加は受け付けませんので、予めご了承ください。

◇ 大会参加費 2,000円（要旨集代含む） ◇ 懇親会参加費 5,000円

- プログラムは、諸般の事情により変更の可能性があります。予めご了承ください。
- 当日は、まず、受付（16日・17日ともに、3階302）にお越しください。
受付にて、要旨集、名札等をお渡しいたします。受付をすませた後、各会場へ移動してください。
- 2階カフェテリアは16日（土）、17日（日）とも営業しています。昼食等にご利用ください。
- 会場内での飲食、喫煙は禁止いたします。

7月16日(土)

於：大阪大学中之島センター

第1会場 (3階301)	(司会) 大阪商業大学 金井一頼
13:30～14:00 日本電気機械工業史における「中堅企業」の指定:明治期～戦間期	大阪大学(院) 滝 理佳
14:05～14:35 陶磁器産地の組織間協働と企業家活動:有田焼産地の事例を中心として	上智大学 山田 幸三
	(司会) 甲南大学 加護野 忠男
14:45～15:30 日本における機械捺染業の勃興-京都綿子ル社に着目して-	大阪大学(院) 亀井 大樹
15:35～16:20 ファミリービジネス(同族企業)の長期存続を対象とした分析枠組みの構築	大阪市立大学(院) 辺見 佳奈子

第2会場 (4階404)	(司会) 日本大学 平田 光子
13:30～14:00 技術人材の技能と育成 -ソフトウェア生産領域の考察-	神戸大学 門脇 一彦
14:05～14:35 日本のシステム開発企業のグローバル化の現状と今後の発展	大阪経済法科大学 呉原 賢愛
	(司会) 武蔵大学 高橋 徳行
14:45～15:15 クラウドファンディングの現状と課題-期待と実態の差異-	関西学院大学 亀田 祥之
15:35～16:05 マスコミで賞賛された経営者が犯す過ち-東芝とシャープを事例にして-	岡山商科大学 長田 貴仁

第3会場 (4階405)	(司会) 法政大学 稲垣 京輔
13:30～14:00 渡島地域の水産加工企業の現状と対応方向-アンケート調査から-	北海道教育大学 孔 麗
14:05～14:35 地域企業の圧倒的シェア獲得のメカニズム-中澤氏家業の事例分析-	高知工科大学 石谷 康人
	(司会) 大阪市立大学 松永 桂子
14:45～15:30 中山間地の-共同店舗が形成する地域貢献型モデル	大阪大学(院) 坂根 直樹

第1会場 (3階301)	
16:30～17:30	総 会
報告事項	① 編集委員会報告 ② 企画委員会報告 ③ 学会賞委員会報告 ④ 総務委員会報告 ⑤ 日本学術会議協力学術研究団体登録について
協議事項	① アントレプレナーシップ・コンファレンス参加について ② 2016年度冬季部会研究会について ③ 会則の改正案 ④ 2015年度決算案 ⑤ 2016年度予算案・事業計画案 ⑥ その他
9階交流サロン	
17:40～19:00	懇 親 会

～ご案内～

- *アフターセッション用に、別途会場をご用意いたしております。ご利用ください。
- *7月16日の懇親会は、9階の交流サロンで開催いたします。
- *7月17日共通論題報告の会場は、10階佐治敬三メモリアルホールです。
- ※発表者の順番・会場・スケジュール等は変更する可能性もありますので、予めご了承ください。

7月17日(日)

於：大阪大学中之島センター

第1会場 (3階 301)		(司会) 大阪市立大学 山田 仁一郎
9:40~10:25	「ママ起業」の実態と起業支援策のあり方	専修大学 鹿住 倫世
10:30~11:15	企業家のコミットメントと産学連携の成果:2つの政策の比較分析	一橋大学 岡室 博之
11:20~12:05	バイオクラスターはイノベーションをどのように創出するのか —神戸医療産業都市の事例分析—	神戸大学(院) 三浦 大介

第2会場 (3階 303)		(司会) 一橋大学 田中 一弘
9:40~10:25	渋沢敬三の社会経済思想—実業史博物館構想に見る経営史アプローチ	文京学院大学 島田 昌和
10:30~11:15	文人実業家・高橋義雄—商業振興から『水戸學』執筆まで	常磐大学 村山 元理
11:20~12:05	実業家交流とフィナンソロピー—渡米実業団(1909年)を中心として	(公財)渋沢栄一記念財団 木村 昌人

12:05~13:15	昼 休 み	
-------------	-------	--

10階 佐治敬三メモリアルホール		
共 通 論 題		
13:15~16:45 「アントレプレナーシップの定量的な把握と分析」		
<p>アントレプレナーシップ(entrepreneurship:企業家精神、起業活動)への期待と関心は、起業活動の活発化に伴って1980年代から欧米諸国を中心に世界的に高まり、社会科学的研究の中でも重要な位置を占める。特に経済学や経営学においては、世界的にみて、マイクロデータに基づくアントレプレナーシップの定量的な把握と分析が大いに発展している。それに対して日本では、1990年代初め以降、起業活動が低迷して長期的に世界の最低水準にあり、企業数そのものも減少を続けている。政府は1990年代後半から起業支援に取り組み、現在では開業率を将来米国並みの高水準にすることを目標として掲げているが、その目標が達成されるかどうかは甚だ疑問である。また、日本ではデータの制約もあり、起業活動に関する定量的な把握や分析が先進諸国に比べて大きく遅れており、東アジア諸国にも追い越されつつある。</p> <p>本学会の年次大会の共通論題セッションでは、これまで大企業や伝統の長い企業の創業者や経営者の「企業家精神」が研究の対象にされることが多く、起業活動としてのアントレプレナーシップは、その世界的な期待と関心、また研究の発展に拘わらず、これまで正面から取り上げられることがなかった。そこで、今大会のセッションでは、起業活動としてのアントレプレナーシップの日本における動向と現状を国際比較において定量的に把握し、その要因分析を通じて、起業活動を活発化し、日本の経済・社会を一層発展させる方策について考えたい。</p>		
(1)問題提起	一橋大学	岡室 博之
(2)報 告	①「就業構造基本調査」から見た 起業の希望と準備の要因	経済産業研究所 東洋大学 松田 尚子 土屋 隆一郎
	②GEMデータによる起業態度と起業活動 の国際比較	武蔵大学 高橋 徳行
	③「新規開業パネル調査」にみる 起業後のパフォーマンスの要因	文教大学 鈴木 正明
(3)討 論	①政策担当者の立場から	中小企業庁調査室長 伊奈 友子
	②実務家の立場から	フューチャーベンチャーキャピタル㈱社長 松本 直人
(4)パネルディスカッション・質疑応答		
総合司会	大阪経済大学	江島 由裕

●大阪大学中之島センター<<http://www.onc.osaka-u.ac.jp/>>

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 TEL:06-6444-2100 / FAX:06-6444-2338



<交通アクセス>

★電車によるアクセス

- 京阪中之島線「中之島駅」6番出口より 徒歩約5分
- 京阪中之島線「渡辺橋駅」1番出口より 徒歩約5分
- 阪神本線「福島駅」より 徒歩約9分
- JR東西線「新福島駅」より 徒歩約9分
- JR環状線「福島駅」より 徒歩約12分
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」4番出口より 徒歩約10分
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」7番または4番出口より 徒歩約16分

★バスによるアクセス

- 「JR大阪駅前バスターミナル」から市バス（53系統 船津橋行「中之島四丁目」下車 徒歩約1分）
- （75系統 なんば行「田蓑橋」下車 徒歩約2分）
- 北港バス（中之島ループバス ふらら）
- 「大阪大学中之島センター前」下車 徒歩約1分
- ※淀屋橋発（土佐堀通/住友ビル前）

☆企業家研究フォーラム事務局☆

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 B1階 大阪企業家ミュージアム内
TEL 06-4964-7601 / FAX 06-6264-6011 / E-mail : museum4@osaka.cci.or.jp